

# やまぎん

# アジアニュース

平成 30 年 11 月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288  
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



## 【青島支店】

### 中国における農業の変化

#### 1. はじめに

日中平和友好条約発効から 40 周年のタイミングで 10 月には安倍晋三首相が訪中し習近平国家主席との首脳会談も実現する等、日中関係には近年にない雪解けムードが漂っています。

政治的な緊張関係とは別に経済的な関係では既に密接な関係にある日中関係ですが、農業面も例外ではありません。2018 年はじめ、天候不順により日本国内で野菜価格が高騰した際には、日本全体の野菜輸入量が急激に増加し、2018 年 1 月の前年同月比では、レタスが約 2 倍、キャベツは約 6 倍、白菜は約 8 倍と大幅に増加したとの報道がありました。特に、キャベツと白菜の場合は日本の輸入量の 9 割以上を中国産が占め、中国産の野菜が日本の食卓に大きな影響を与えつつあります。

以前にも、天候不順で日本国内の野菜が品薄になることはありましたが、白菜やキャベツなどの「葉物」は鮮度が求められるため、国内産と比較して鮮度の劣る輸入野菜が急激に増加することはありませんでした。しかし、中国産野菜の「変化」により、中国からの輸出市場も大きく変化しようとしています。

#### 2. 品質の向上

中国産野菜を巡る大きな変化のキーワードは「品質」と「物流」です。物流体制の整備により、以前と比べて鮮度を保ったままの輸送が可能になりました。加えて、変化が一番大きいのは品質の向上です。

従来は、特定の輸出用野菜については中国の契約農家に対して日本産と同じ品種を栽培してもらうなど、日本側の指導もあり一定の品質が確保されていましたが、近年は一般的な野菜も品質が向上しており、日本産と品質に大きな差がなくなってきました。

言うまでもなく中国は社会主義国家であり、国家レベルの施策は日本とは比べ物にならないくらい強力で推進される特徴があります。野菜の品質向上も、「三品一標」と呼ばれる品質認定制度を導入して国家レベルで取り組み大きく向上しました。三品一標とは、有機農産品（生産過程に化学肥料を用いない）、緑色農産品（汚染のない環境下で生産された野菜）、無公害農産品（残留農薬等人体に悪影響を及ぼす物質がない野菜）の三品と、

生産地の表示を総評したもので、一定の品質を得た農産物が認定され、三品それぞれの内容に応じて農産品にシールを貼る制度です。



写真：「現地スーパーで売られている三品一標ラベルの貼られた商品」

また、日本とは少し異なる温室ビニールハウス栽培の普及も品質向上に大きく寄与しました。中国の温室ビニールハウスは日本のビニールハウスのように全面をビニールで包むのではなく、一部を土壁としています。この土壁ビニールハウスは土の保温効果により、ビニールだけで作られたビニールハウスよりも性能は格段に高く、気温の低い時期や、中国北部の乾燥しがちな土地においても十分野菜栽培が可能となりました。



写真：「中国で普及している土壁ビニールハウス」



写真：「土壁ビニールハウスの内部」

### 3. 山東省の農業

山口県と友好関係にある山東省は、実は日本向け輸出野菜の一大生産地であり、中国から日本に輸出される野菜の約4割は山東省で生産されています。

山東省は日本の東北地方南部から九州北部に緯度が重なり、四季の移り変わりが同じようにあることで、日本で栽培されている野菜を栽培できる環境にあります。農作物栽培に必要な水資源についても、平均降水量は600～1,100ミリと日本の平均降水量約1,700ミリと比較は少ないのですが、省内を北東の方角に黄河が流れることもあり、豊富な河川水を有しています。また、平均日照時間は約2,400時間であり、日本の約1,300（東北地方）～2,000（九州地方）時間と比べ長く、野菜栽培に適した気候となっています。このように恵まれた自然条件を備えた山東省は中国有数の農作物生産拠点となっており、農林畜産漁業額では常に全国3位以内に位置して、野菜の生産量全体が中国全土最大規模、野菜の輸出に関しても全国1位であり、中国全体での野菜輸出総額の約4割を占めています。

山東省では、山口銀行青島支店がある青島市は国際リゾート地として発展していますが、周辺には農業の盛んな都市が多く、中でも萊陽市ライヨウシと寿光市ジュコウシが全国的に名を知られています。

萊陽市は青島市の北に位置する内陸市で、その特色は農業の産業化を主軸として食品工業の発展を重点にした農業振興を行っており、農作物の中でもリンゴが特に有名です。

寿光市は青島市西部に位置する内陸市で、古くから野菜の生産がおこなわれてきた土地で1994年には政府より「中国野菜の郷」の称号を授与されたほど野菜生産が盛んです。先述した土壁ビニールハウスも1980年代より建設がすすめられ、現在は市内に30万基

以上が設置されています。北京等の大都市への野菜供給量も多く、毎年4～5月には中国最大の野菜専門の博覧会「中国（寿光）国際野菜科学技術博覧会」が開催され、毎年100万人を超える来訪者があります。

現在、国家レベルの農業推進策として、「三品一標」とは別に「中国ブランド農産品」の認定を進めることで農産品のブランド化による付加価値向上を進めていますが、農業の盛んな山東省としては「山東省農林水産品ブランド」、市単位でも例えば青島市では「青島ブランド農産品」の認定を進めることで国と歩調を合わせた推進を行っています。山東省では、既に中国ブランド農産品にも選定された膠州大白菜を筆頭に、大澤山ぶどう、烟台リンゴなど様々なブランド農作物が誕生しています。



写真：「大澤山ぶどう」

#### 4. 終わりに

山東省は黄河によって運ばれてきた土砂が沖積して出来た広大な平原地帯を形成しており、山東省内を移動すると広大な農地が広がっていることを目の当たりにして、その農業生産力の高さを実感します。また、農作物の収穫シーズンには、農家が路上に自家製農作物を並べ、道行く人に販売する光景が一般的に見られるなど、身近に農業を感じ

ることができます。



写真：「ぶどうの露店販売の様子」

農業生産力の高さから海外の食品関連企業の進出も多く、輸出に加えて今後ますます増加が予想される中国国内の食料品消費への対応も進められています。現在、中国では工業製品の品質向上が進められていますが、農産品についても今後品質は更に向上していくと予想されます。

山口銀行青島支店では中国に関する様々なビジネスのご相談を承っております。今回取り上げた農業以外にもお気軽にお問合せください。

(山口銀行青島支店 浅上 雅典)

#### 【参考文献】

- ・JETRO 山東省における農水産物の生産・輸出動向
- ・NHK NEWS WEB「ビジネス特集 野菜の輸入 激増！ 意外な理由」
- ・農畜産業振興機構 月報野菜情報 2018年7月号  
「中国の日本向け野菜輸出および安全と品質向上に向けた取り組み」  
「主要国の野菜の生産動向等」